

心の悩みエトセトラ

第15話



精神科医
瀬戸 睿

9月13日の東京新聞の朝刊のコラムに「思い込み」についての面白い例が書いてあった。「巨人の星」の歌「思い込んだら試練の道を」を「重いコンタラ（整地ローラーのこと）」と間違えた歌手の平原綾香さんの話や、赤い靴の「異人さんに連れられて」を「いい爺さんに」、ふるさとの「鬼追いし」を「鬼美味し」と間違えた解釈をしていたことを載せてい

た。人間はいつたん「思い込む」と訂正できないものがあるんですね。安倍首相の「集団的自衛権」は憲法違反ではないというのも、身勝手な「思い込み」の一つです。普通間違っていることに気づいて訂正するのだが、それを訂正できない人もいる。政治家がそれをやると、大衆社会に迷惑がかかることになる。当院の清水医師は季刊誌で「思い込み」について、自戒している。「常に病名に疑問を持ちながら、その後の経過において本当にこの病名でよいのかと自問自答しながら治療に携わるようにしてい

る」と。安倍首相にもこのような態度を持っていただきたい。

今年は、夏刈郁子医師を越谷に呼び講演をして貰う。夏刈医師は「心病む母が遺してくれたもの」という本に、母が統合失調症であり、自分の内なる差別、偏見をどう乗り越えていったのかを書きました。夏刈医師の講演は、12月6日（日）午後5時〜午後6時30分にヒルズマキーユリーにて行います。是非、皆様も聴きに來て下さい。

心の悩みを募集します

お寄せ頂いたお悩みを紙面で紹介し（匿名とします）アドバイザーいたします。

〒343-0845 越谷市南越谷1-4-53-103号、東武朝日編集部「心の悩み」係

または、FAX 048-985-12922まで。

精神科・神経科・心療内科・デイケア
越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎ 048-965-1151

医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

